

新栄だより vol.34

令和6年1月1日16時10分 能登半島地震 最大震度7

珠洲市三崎中学校グラウンド仮設団地を施工しました



▲現地調査確認のため、車中より撮影



▲現地へ向かっている様子



▲工事中的様子



▲竣工間近の様子

1月1日に起きた能登半島地震の影響で、珠洲輪島では、大変多くの被害が出ました。私は、私用で東京にいて、テレビを観る事でしか情報を得られず、住まい、地元の状況が大変心配になり、翌日に新幹線が復旧した時点で即、富山に戻ってきました。着いた時には、私の周りでは影響は少なく、ほっとしたのを覚えています。ただ、被害にあった場所も大変多くあり、特に能登の被害映像は、見るに堪えられないものがありました。後日、大和ハウス工業様から会社へ、復興1番手は是非北陸の力で復興したいと、珠洲市の応急仮設住宅建設工事の協力依頼がありました。不安もありましたが、大和ハウス工業様の熱意を感じて、柿谷リーダーと協力して、プロジェクトに参加する事にしました。現場では、なるべく早く工事を終わらせて引き渡してあげたいという工事マン全員の熱い気持ちが伝わり、精一杯尽力しました。そして、協力会社とも連携し、無事引渡しを終えました。これで半年経過しますが、まだまだ北陸の復興は思うように進んでいない様子です。早く元の生活を取り戻して欲しいです。被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。

(工事部施工管理課・藤川)

今年元旦に起こった能登半島地震。富山でも経験の無いレベルの揺れを体験しました。1月中旬頃、大和ハウス工業様から工事依頼がありました。大和ハウス工業様の被災された方々への熱い思いに感謝し、当社としても今回は非貢献し、1日でも早く被災された方々へ心休まる場所を提供したいと思い、参加させて頂きました。仮設住宅は全部で60戸、その内当社は30戸を担当させて頂きました。工事期間は、休日無しで約30日間で完成予定との事で、早速1月29日に富山から現地及び道路状況の確認の為、現地に向かいましたが、氷見の被災状況、七尾から北部方面の被災状況を目の当たりにし、徐々に言葉を失い始めました。途中の道路の被害状況は凄まじく、行きに4時間、帰りに5時間掛かる状況でした。当然現地に宿泊する所は無く、水道も止まり、食事や買い物をする所も無い状況なので、拠点と出来る場所を氷見にしました。毎日往復250kmを朝4時半出発、帰宅18時を30日間、当社協力業者5社で毎日最低6~7名が現地に入るように交代しながら、その日の出来る作業を、全員で協力し実行して頂きました。当社が現地工事に着手したのは2月9日、現地入りして一番感動したのは、元請の大和ハウス工業様のもと、鉄骨、大工、内装、設備等の全ての業者が「1日でも早く、安全な場所」を提供しようと、完全にワンチームで日々作業をしていた事でした。こんなにも全員の熱い思いが溢れて、一丸となっている現場はなかなか無いかと思います。今回参加した全業者、その殆どが全国各地からの参加でした。また、今回災害復旧工事には日本全国の警察や消防、電力会社等の応援部隊が参加された事に非常に感謝します。最後に3月22日に全てが完了したとの事で、現場事務所の撤去工事に入った時、仮設住宅に既に数件入所されている様子が伺え、少しだけ安堵しました。まだまだ問題は山積みですが、被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

(工事部施工管理課・柿谷)

近況報告

1月27日砺波ロイヤルホテルにて第44期経営計画発表会を行いました



▲経営計画発表会の様子



▲昨年の不二越チームが最優秀に選ばれました



▲永年勤続40年の表彰

今年の経営計画発表会は1月27日（土）、Royal Hotel富山砺波にて開催しました。例年同様、社長より「昨年度の反省と今年の方針」などの発表がありました。発表を通して、新入社員の5名入社により40名を超える新体制に入っていく年であること、変えるべきものと変えてはいけないものを判断することが大切なことなどを改めて確認しました。経営計画発表会のあとに優良チーム&従業員表彰ならびに永年勤続表彰を行いました。今回の優良チーム表彰には、不二越滑川チームが選ばれました。大型の突貫工事を先読みしながらうまく収め、お客様から評価いただいたところが表彰へ繋がりました。その他にも複数のチームおよび個人が表彰されました。また、今年は永年勤続40年のベテラン社員が表彰されました。今までの経験を若手に継承しながら、これからも頑張っていたきたいと思っております。そして、コロナ禍のため、新年懇親会は控えておりましたが、今年は4年ぶりに開催しました。

懇親会では、些細な事が笑いとなり、自然とコミュニケーションを取ることができました。仕事を円滑に進めるために、これからもコミュニケーションを取り、絆を深めながら、「お客様第一」の精神を守り、頑張っていこうと改めて思いました。

(総務部総務課・酒井)



約1年間の産休・育休を経て、4月から復帰させていただきました。妊娠期間中及びお休みの期間中は様々な面で皆様にご配慮をいただき、大変感謝しております。一生で一番早いスピードで成長するといわれる0歳の1年間を一番近くで見守ることができ、おかげさまでとても貴重な時間を過ごすことができました。1歳になり、つい先日歩けるようになった我が子の成長を日々実感しています。復帰後は1年の間に変更になった社内ルールや法改正等の対応も多々あり、同部署の方に教えてもらいながら業務をすすめています。

日々目まぐるしく、1週間があっという間に過ぎていきますが、まずは仕事と家庭の両立のリズムをしっかりと作り、平日は仕事を頑張る分、休日は子供との時間を大切に、どちらも頑張っていければと思っています。今後ともよろしくお願いたします。

(総務部総務課・釜土)

マラソンチーム「S(新栄電設)レーシングクラブ」を結成しました

いっちゃんリレーマラソンに参加しました



6月2日（日）太閤山ランドにて、リレーマラソンに社員9名が参加しました。初心者も数名おりましたが、なんとか走りきる事ができました。チーム力でやりきった事がとても嬉しく、この後の仕事のコミュニケーションも取りやすくなり、とても良い思い出となりました。

社長よりご挨拶

はじめに、1月1日に発生した能登半島地震において被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。元旦の地震では富山ではあまり経験することがなかった大きな揺れがあり大変驚かれた方が多かったと思います。当社では、BCP対策として取り組んでいた安否確認システムが初めて発令され、関係者の無事を確認することができました。

時間の経過と共に近隣地区において甚大な被害が出ていると知り心を痛めていたところに、今回記事に掲載させていただいた珠洲市の応急仮設住宅工事への応援依頼が入って参りました。工事内容は記事に掲載させていただいた通りですが、余震がまだ続き、道路やインフラが壊滅的な被害を受けた珠洲市まで200キロ以上の道のりを毎日往復しての工事です。現場では、被災者に日常生活を取り戻していただきたいという熱い思いがヒリヒリと伝わってきました。自分の目で直接見た震災の被害状況の悲惨さは言うまでもなく画面越しで見えてきたものとは違うものです。一方で、復旧に向けて動く人の力の偉大さも身をもって感じることができました。毎日通う道路は段差が少しずつ解消され、自動車専用道路が区間ごとに開通され、倒れた電柱の横に新しい電柱がたち電気が送られていく……。改めて建設業に働く者の使命を痛感した現場でした。ご指導、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

また、ご紹介させていただいた通り4月より5名の新入社員を迎え、合計42名の体制となりました。新しい風が吹き込み、これまで以上にチームワークを高めお客様の役に立つことを喜びに邁進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(代表取締役社長・清水)

新入社員が5人入社しました。どうぞよろしくお願ひ致します。



▲左より佐伯、入部、山本、成瀬、晴被

山本&姫野チーム

今年の4月に入社した山本です。入社して2ヶ月ほどが経ち、少しずつ職場の雰囲気にも慣れてきました。上司や先輩社員にも恵まれ、楽しい日々を過ごすことができている。仕事に関しては0からのスタートということもあり、まだまだ分からないことだらけですが、少しずつ成長していけたらと思います。

(工事部施工管理課・山本)

4月から山本君の上司となりました。私も同じでしたが、山本君も学生時代は文系を専攻し、電気の知識はほぼ0の状態での入社なので分からないことだらけだと思います。分からないことは恥ずかしながらずいぶん聞いて覚えていってください。また同期が4人いる恵まれた環境です。お互いに切磋琢磨し成長していってください。

(工事部施工管理課・姫野)



▲施工図の打ち合わせ中です

佐伯&三浦チーム

新栄電設に入り二ヶ月が過ぎ、会社の雰囲気や現場の仕事にも、少しずつ慣れてきました。会社の人みんな優しく、何を聞いても丁寧に教えてくださいます。新栄電設に入社できて私はとてもうれしいです。

(工事部工事課・佐伯)

自分の母校である、富山工業高校から4人も入ってもらえて、とてもうれしく思います。佐伯君は、レーベン環水公園の現場で暑いなか、仕事をしているかと思う。1つ1つ仕事を覚えていって、同期の3人と切磋琢磨して技術を磨いていってください。

(工事部施工管理課・三浦)



▲伊藤電気様と入線作業中です(手前が佐伯)

成瀬&坂下チーム

入社して二ヶ月が経ち、少しずつ仕事に慣れ、現場の流れや様々な材料、工具を学んできました。坂下さんをはじめ、先輩方や職人さん方々に何度も親切に教えていただき、少しずつ学ぶ事ができています。しかし、まだまだ分からないことばかりなので、少しでも成長できるよう、前向きに頑張っていきたいです。

(工事部工事課・成瀬)

現在レーベン環水公園の現場で仕事をし2ヶ月程しか経ちませんが、もうチームの一員になっています。失敗を恐れずに新しいことにどんどん挑戦してください。自分や中川リーダー、周りの方がフォローしてくれます。わからないことがあれば何でも質問してください。一步一步着実に成長し一緒に頑張っていきましょう。

(工事部施工管理課・坂下)



▲レンジフードコンセント取付の様子です



▲ボックス取付作業を行ってます

✿ 入部&谷内チーム

入社して2ヶ月ほど経ちます。現場では、使用したことのない工具や、多くの材料があり分からないことだらけです。しかし、先輩方に分かりやすく教えて頂いたおかげで、少しずつ覚えることができています。まだまだ半人前ですが早く役に立てるように頑張ります。

(工事部工事課・入部)

社会人になって間もない中、現場に出て沢山の職人さんの中で慣れない仕事をするのは、肉体的にも精神的にもとても疲れると思います。ですが、この経験は今しかできないことなので、不安なことがあったらサポートしますので何事にも怯まず挑戦してください。

(工事部施工管理課・谷内)



✿ 晴枝&柿谷チーム

入社をして約2ヶ月経ち、緊張もなくなり少しずつ社会人としての生活に慣れてきました。また、現場に出て1ヶ月経ち、安全に対する意識や電気工事はどんなことをやっているのかを見ることができました。まだ分からないことがあるので聞いていきたいと思いました。

(工事部工事課・晴枝)

私もこの業界でスタートを切った時は、現場で腰道具をして実際に先輩、他業種の親方等に色々教えて頂きましたが、工具や材料の名前、工法を全て覚えるには非常に時間が掛かりました。そこで1番大事にしている事は「社会人としての礼儀」「誰とでも話せる事」「若さを活かした積極性」でした。晴枝君にもまずは、誰にでも可愛がられる、必要とされる事を重点目標として行動する事を教えています。また、毎日帰社後①その日の作業で何を掴んで来るかの目標設定確認②実際の作業で何を学んだか③その他(何の為の配線なのか、何人の人と話せたかetc)を他の新入社員と共に反省会をしています。それぞれが1日も早く自分の1番の強みを見つけ、競い合い良い経験を積んで行く事を願っております。

(工事部施工管理課・柿谷)



▲配線作業を行っています

当社は新入社員にメンター制度を取り入れています

メンター制度とは、新入社員に対して先輩社員が指導に当たったり、相談に乗ったりする人材育成支援制度です。新人社員は、職場の環境や人に慣れていないため、不安を抱え込むことも少なくありません。気軽にコミュニケーションをとれる先輩がいることで職場になじみやすくなり、不安が解消されることで、仕事への意欲を維持しやすくなるかと思えます。また、メンターとなる先輩社員も人に教えることで、自身も様々な学びを得ることができるかと思えます。改めてメンター自身が見直すことで、自身の成長にも繋がります。メンター制度を取り入れることによって、社員間でのコミュニケーション、他部署間のコミュニケーションが促進され、組織の活性化を望んでおります。皆様には多々ご迷惑をお掛するかもしれませんが、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

4月6日会社付近の美化活動をしました



毎年2回(4月と9月)行ってます恒例の美化活動1回目を4月6日(土)に新栄電設本社周辺にてゴミ拾い、草むしりなどの清掃活動を行いました。今回は、新入社員が5人増えたことで平均年齢がぐんと下がり、フレッシュな力のおかげと、晴天にも恵まれ、気持ちの良い作業となりました。皆が上手く分担してくれるおかげで、予定より早く終了できたのも良かったと思います。今後とも、この行事を通じて効率のアップや仲間意識の構築など何かをつかむ機会にして貰えればと思います。

(環境整備推進委員長・江尻)

